

(中国乙24)  
梅毒 発生推移  
=2025年12月度=

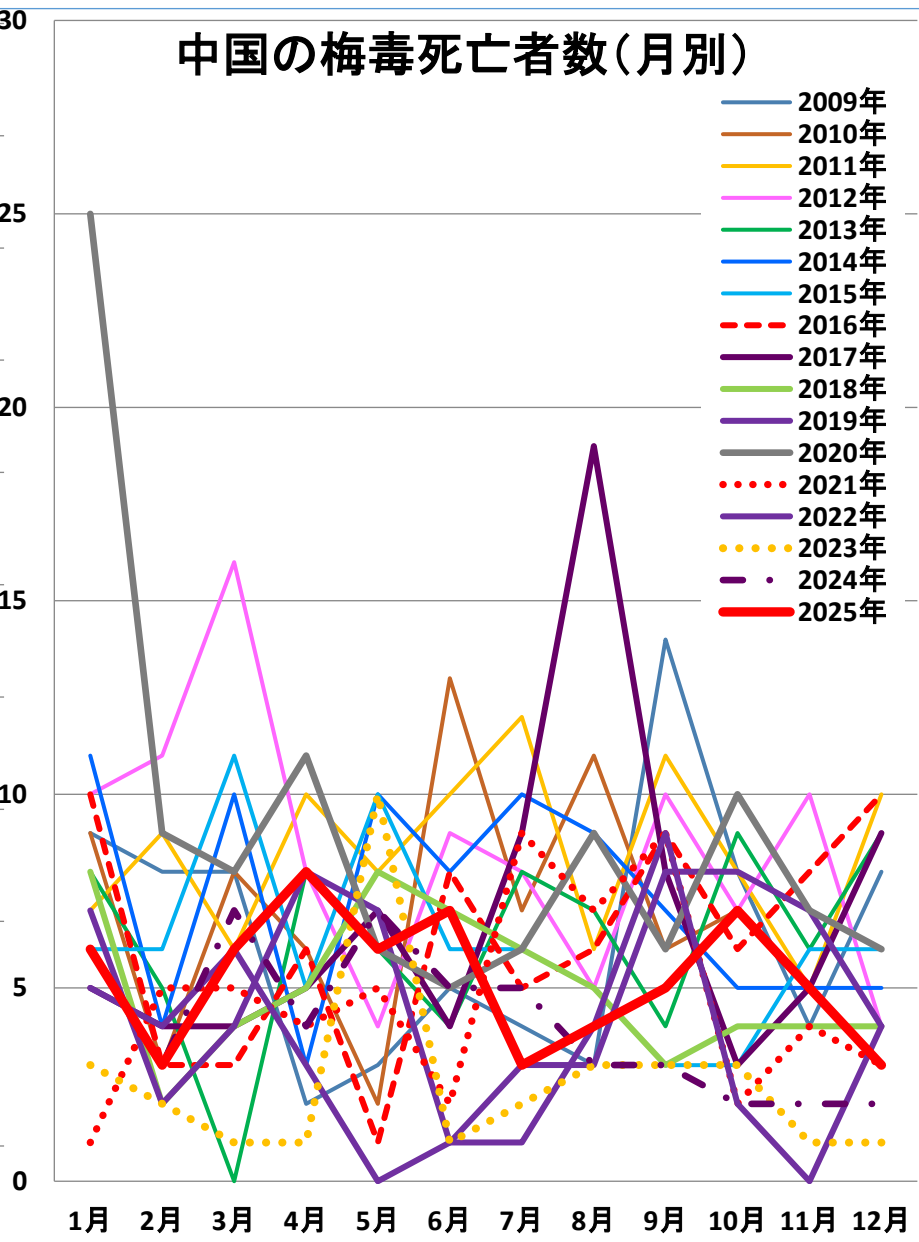
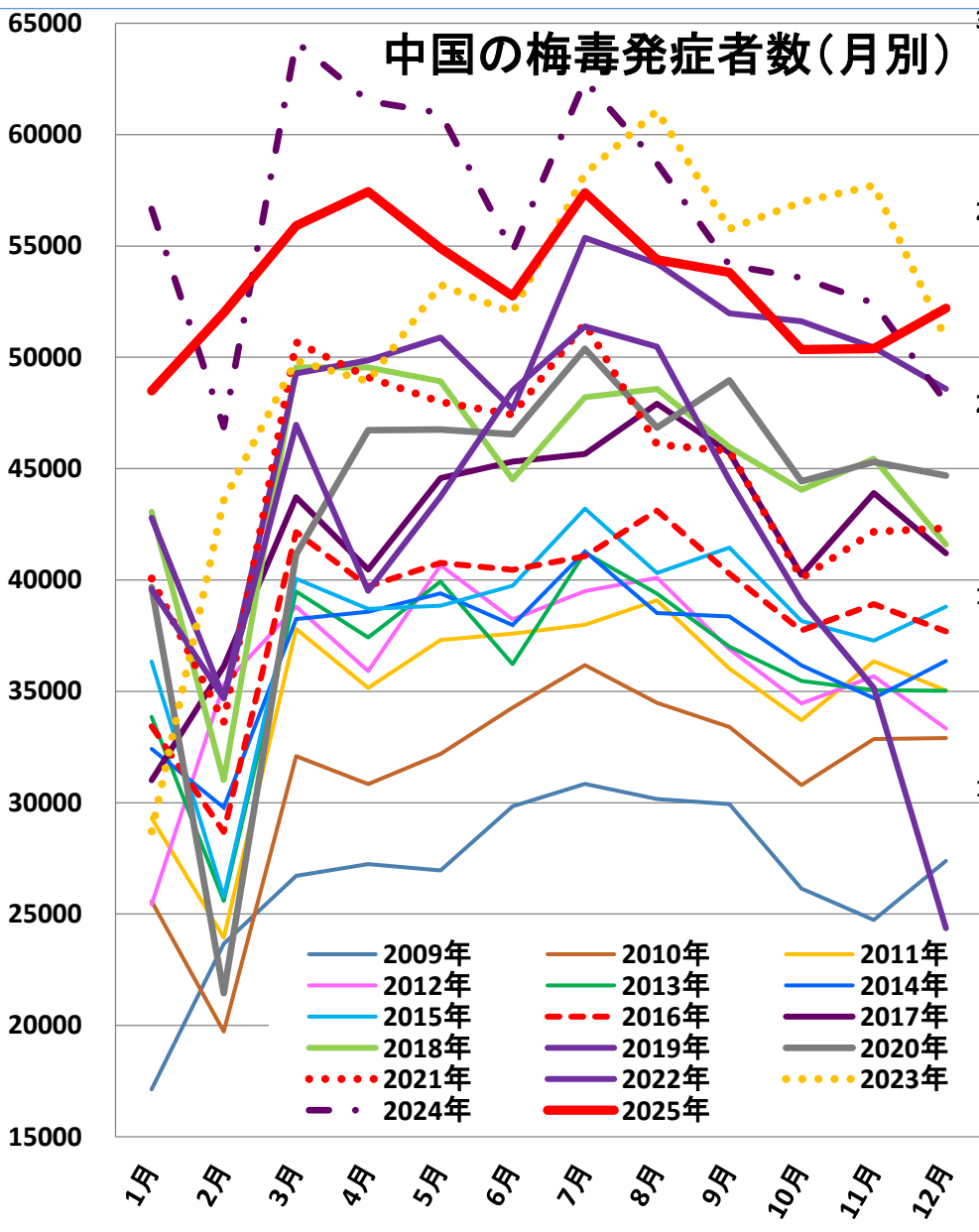
発表: 2026年1月9日 国家NDPCA

作成: 2026年1月12日  
日中医療衛生情報研究所

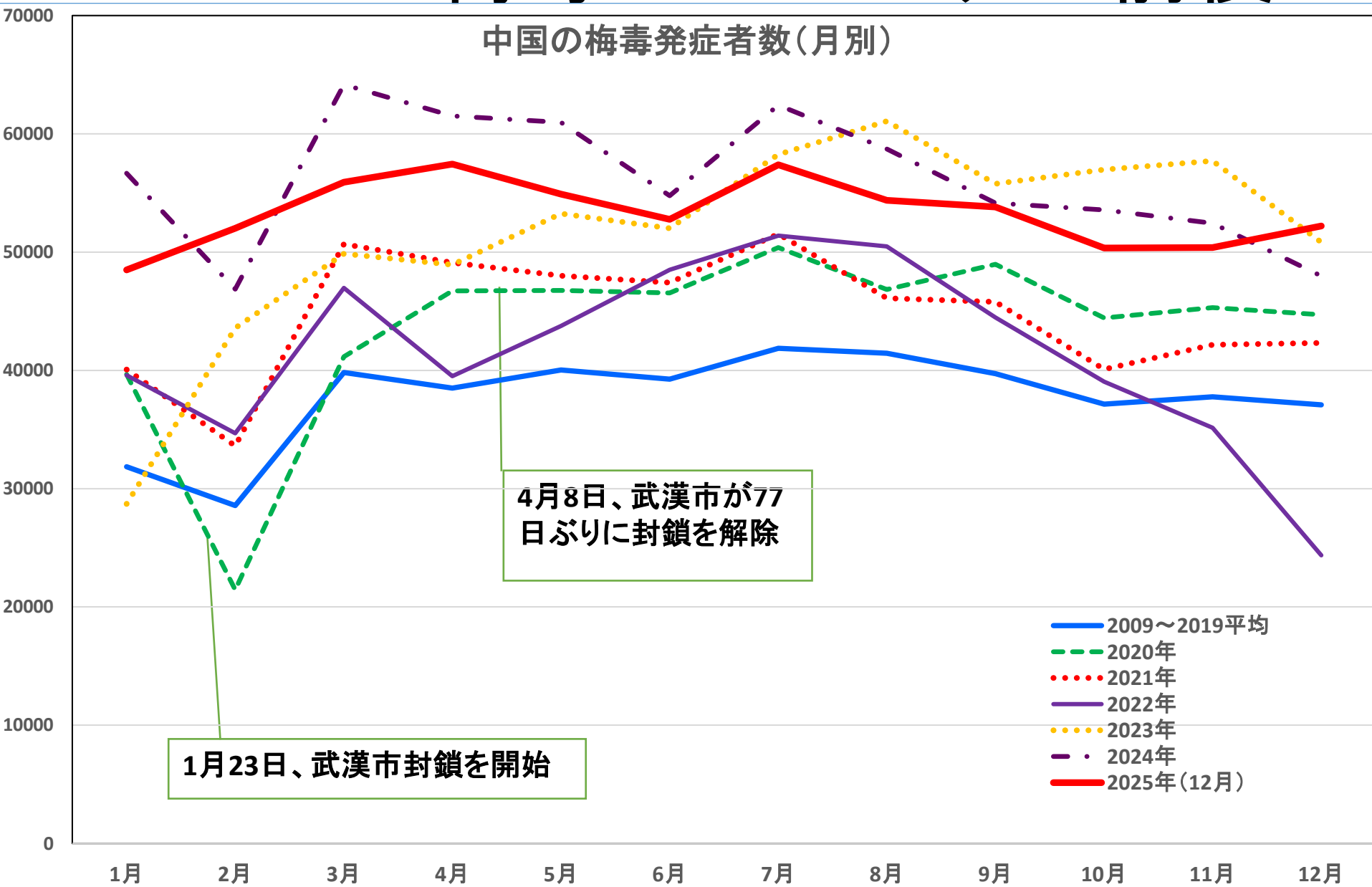
# 梅毒

- エイズ・B型肝炎・C型肝炎といった他の性感染症も右肩上がりの中、(淋病は2018年度減少に転じた?)
- 中国の梅毒の特徴は、
  1. 毎年数十万人の患者が出ており、毎年増加の傾向
  2. 月別では、毎年2月に発症者数が底を打ち夏場が増え、秋口に一旦減少後に12月に小さなピーク
  3. 2015年は、433,974例となったが、  
2016年438,199例、2017年475,860例、  
2018年494,867例、2019年535,819例に。  
2019年5月から連続9か月続いた過去最悪の状況は  
2020年1月以後激減、コロナの影響？  
2020年は464,435例と減ったが、死者は増えている。  
2021年480,020例、2022年441,159例、  
2023年530,116例、2024年は572,092例(確報)。  
中国4大STD時代の復活か。

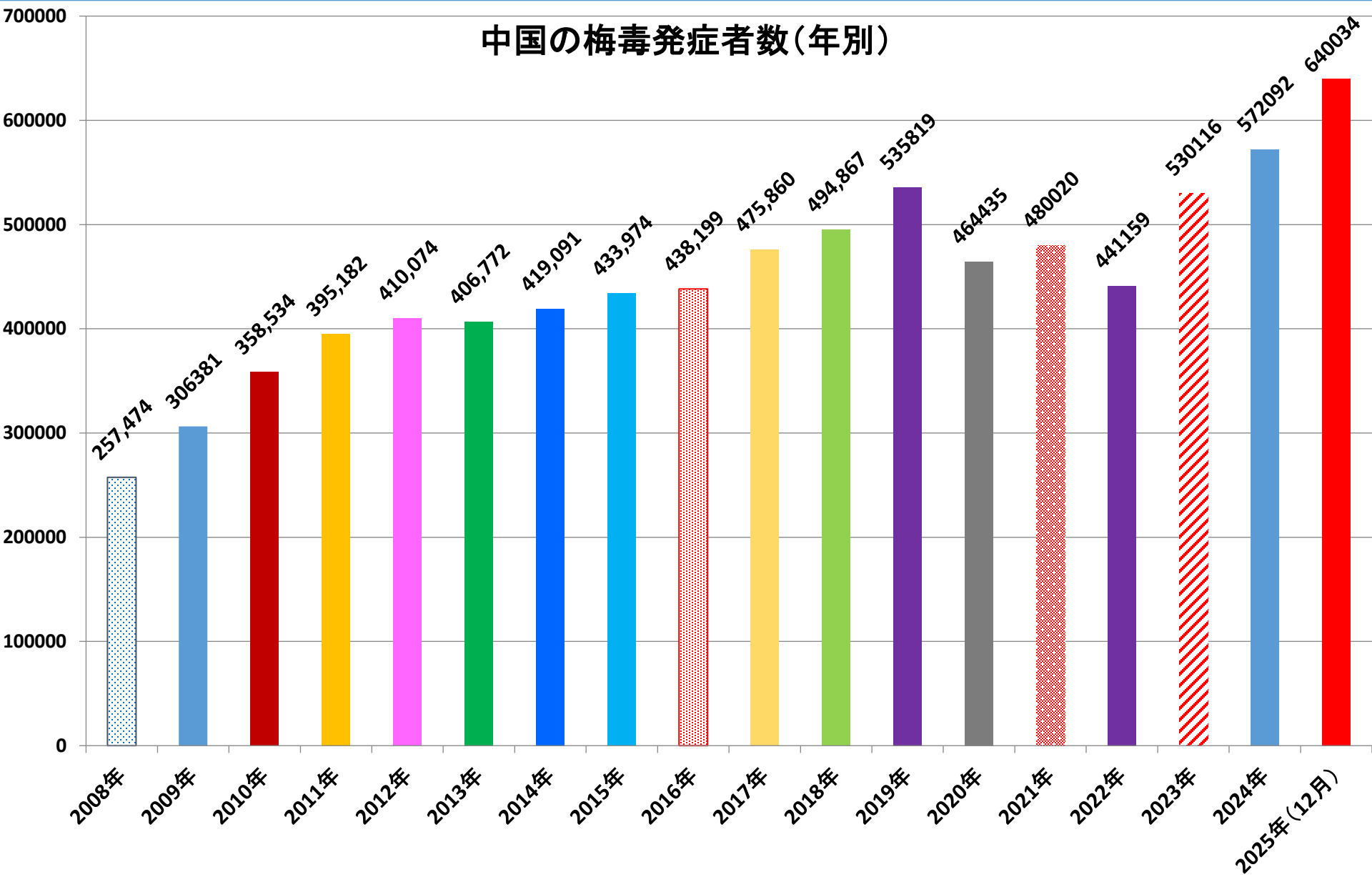
乙24：梅毒



# 乙24 : 梅毒 : コロナの前後



# 乙24：梅毒



# 乙24：梅毒

中国の梅毒死亡者数(年別)

